

『マリーゴールドをつかって』 4 歳児 7月 伏見こども園

子どもの姿

栽培していたマリーゴールドの花を摘み、揉んで色を出し、一人一枚輪ゴムで所々を縛った布を入れてマリーゴールド染めをしました。

「どんな色になってる?」「早く見たい」と楽しみにしていた子ども達と、鍋の中の布を見ると「わぁ!はちみつ色!」「レモンジュースみたい」と嬉しそうに驚いて話している子ども達でした。布を取り出すと、「あれ?さっきのより強い黄色だね」「濃さが違う」「レモンみたいな匂いもするよ」と、友達と染まった布を見たり匂いを嗅いだりしていました。

縛ってあるゴムを外すと、思ってもみない模様ができていて、「先生、見て見て!こんな模様できたよ」と興奮気味の子ども達。友達の模様を見て、「早く自分の模様を見たい!」と急いでゴムを外そうとしていました。友達の染めた布と自分の布を並べて、嬉しそうに模様の違いを楽しんでいました。

子どもの育ちや学び

レモンみたいだよ。
(興味・知っていることを思い出す)

いい匂いするね。
(興味・気づき)



わぁ!見て見て。
こんな模様になってる。(驚き)

私のは、どうなってるかな?
(期待、早く見たい)



花を揉んだり煮たりする中で、いろいろな匂いを感じていた。
友達の言ったことに反応したり、生活の中での経験から、嗅いだことのある匂いだと思い出したりする。

絞りをほどくと、思ってもみない模様ができて
いることを知って驚く。
自分の布の模様を早く見たいと好奇心や興味をもったり、友達の模様と並べたり比べたりする。

保育者の思い

5月に植えた個人栽培のマリーゴールドは、色水遊びにもよく使っていたこともあり、よく色が出る揉み方を友達に教えてもらったり、和紙が染まることを知ったりして遊びました。「他にどんなものが染まるだろう」「布はどうやろ?」と話し合い、試すことにしました。布をゴムで縛ることは、子ども達にとって難しいと思っていましたが「自分でやってみたい」と自分で縛る子もいて「早く染めてみたい」という子ども達の期待が高まっていました。保育者もワクワクしつつも、上手に染まるようにと願っていました。

色や匂いなど、五感を通して感じたり、友達との違いに気付いたりし、染めた布を水で洗ったり干したりする工程にも興味をもっている子ども達。「お家の人にも見てもらいたい」と自分の作品を大切にしている様子も見られ、期待したり楽しみにしながら活動できて良かったと思いました。

家庭だったら・・・

大切に育てていたマリーゴールドは暑さに強く、育てやすい花です。色水でも遊べるし、花が咲き終わると種取りもできます。来年の春に種を撒くと、また来年も花を楽しむこともできます。草花を通して、遊び方だけでなく、大切に育てる喜びや楽しさを味わってほしいと思います。